



肥満と食事

在米22年。かつては人間の専門家を目指し文化人類学を専攻。2001年からキャリアを変え、子供の頃からの夢であった「犬の専門家」に転身。地元のアニマル・シェルターでアダプション・カウンセリングやトレーニングに関わると共に、個人ではDoggie Project (www.doggieproject.com)というビジネスを設立。犬のトレーニングや問題行動解決サービスを提供しつつ、13歳になるビッパブル、ジュリエットとニュージャージーで楽しく生活中。ご意見・ご感想は：info@doggieproject.com



れる問題として、犬の場合、心臓が余分に働かなくてははいけないのですぐに疲れてしまうということがあります。そのために呼吸の回数も増え、消化器官の病気になる可能性もあります。また、足腰への負担からくる関節や骨の支障、動作が機敏でなくなるための怪我の可能性も増えます。犬の成人病にも密接に関連し、たとえば糖尿病にかかりやすくなります。持久力も衰え、抵抗力まで低下してしまうので、皮膚病なども引き起こしやすくなります。また心臓が弱った結果、麻酔への危険度が高くなるため手術が必要になった際も大きなリスクが付きまといま

食事のルールと運動

犬が太る原因は（病気がらくるものでない限り）（1）過食、（2）運動不足です。ということは原因を作っているのは飼い主。「あの目で見つめられたらうつついっ……」とむやみやたらにおやつを与えていませんか？「褒美だって、食べ物でないといけないことはありません。飼い主の褒め言葉やその気持ちほど愛犬の誇りになるものはないのです。また、「おやつで気を惹きつける」ではあまりにも愛犬との関係が淋しすぎます。おやつはあくまで決まった分量だけ、または特別な時に与えるようにしましょう。運動については以前もここで取り上げましたが、庭やドッグランで自由に遊ばせているだけでは犬にとって必要な運動量に達しません。必ず1日2回一緒に外を歩きましょう。シエープアップにも健康維持にもつながる毎日の散歩。愛犬にとっても飼い主にイビティーはないですよ。

地球上の動物（もちろん人間も含めて）の中で、健康上、肥満が利点になる動物はいないでしょう。肥満はあらゆる問題を引き起こす原因になります。肥満から引き起こさ

肥満がなぜ悪い？

最近こんなことがありました。お母さんと小学生のお子さんがうちのシェルターにやってきて、ラブラドルの混血犬を大変気に入りました。初顔合わせもまずまずいい感じ。アダプションという方向で話を進めていきましたが、おうちに先住犬が居るといふことで、相性チェックのために連れてきてもらうことにしました。やって来てびっくり。「何犬ですか？ いや、これ犬ですか？」と思わず口から出そうになりました。ミニチュア・ピンシャーの女の子でしたが太っていて、まるで全身が破裂しそうな風船が、怒ったフグのような様相で、上手く歩けないのです。のっしのっし、よったよったと。機嫌を損ねないように、わんちゃ

と健康管理の話をしましたが、ご本人たちは「問題」にまったく気づいていない様子。フレンドリーで明るい家族ではありませんが、私のアダプション推薦書は「NG」とさせてもらいました。

私は自分の体重コントロールには甘いですが（苦笑）犬の体重に関しては、とても厳しいところがあります。それは、**犬は自分で体重管理ができず、犬の肥満は全て飼い主の責任だからです。**日本では飼っていた柴犬ミックスのブルートも、2カ月半でもらってきた時はウエストから下がコロコロ。「いくらパピーと言えどもこれはまっすいのでは？」と減量に励み、1週間ちよつとで標準型にしました。ジュリエットの理想体重は50パウンド。今では老化で痩せてしまっていますが、10年弱その50パウンドをきちんと保たせました。

「今年の猛暑、
巨体にはこたえるワ……」



す原因になります。

さて、今回は私が日頃から「素晴らしい！」と感心しているアメリカの刑務所での犬と人間のプログラムをご紹介したいと思います。どつぞお楽しみに。